

2 病院事業の業務状況

(1) 事業の概要

滋賀県病院事業では、高度専門医療を提供し、県民の健康増進と保健福祉の向上を図るため、次の3センターを運営しています。

病 院 名	診 療 開 始	診療科	病 床 数	建物延面積
成人病センター	昭和 51 年 4 月	30 科	535 床	90,746.27 m ²
小児保健医療センター	昭和 63 年 4 月	9 科	100 床	9,444.42 m ²
精神医療センター	平成 4 年 9 月	4 科	123 床	10,675.87 m ²

○患者の利用状況

平成 28 年度における県立 3 センターの利用実績（患者延数）は、入院が 206,688 人、外来が 288,245 人で、前年度に比べて、入院は 1,321 人の減少、外来は 7,263 人の増加となりました。

なお、各センターの近年の利用状況は、次のとおりです。

●患者数

(単位 人)

区 分		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		
		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	
成人病 センター	入 院	患者延数	75,281	74,371	74,582	73,381	71,617	74,355
		1日平均	411.4	408.6	407.6	401.0	391.3	408.5
	外 来	患者延数	106,897	104,792	107,030	108,841	110,505	107,226
		1日平均	855.2	880.6	870.2	907.0	898.4	893.6
小児保健医療 センター	入 院	患者延数	12,868	12,531	13,774	13,886	13,315	13,414
		1日平均	70.3	68.9	75.3	75.9	72.8	73.7
	外 来	患者延数	22,309	21,764	22,105	22,175	22,954	22,823
		1日平均	178.5	182.9	179.7	184.8	186.6	190.2
精神医療 センター	入 院	患者延数	15,334	15,193	16,165	16,221	16,597	17,390
		1日平均	83.8	83.5	88.3	88.6	90.7	95.5
	外 来	患者延数	11,757	11,330	10,716	10,115	12,200	12,537
		1日平均	94.1	95.2	87.1	84.3	99.2	104.5
合 計	入 院	患者延数	103,483	102,095	104,521	103,488	101,529	105,159
		1日平均	565.5	561.0	571.2	565.5	554.8	577.8
	外 来	患者延数	140,963	137,886	139,851	141,131	145,659	142,586
		1日平均	1,127.7	1,158.7	1,137.0	1,176.1	1,184.2	1,188.2

○建設改良の状況

成人病センターでは、新病棟の建設工事を平成 28 年 8 月まで実施しました。また、平成 28 年下半期から西館の改修工事を実施しています。また、医療の高度化に対応するため、県立 3 センターで引き続き医療機器の整備等を行いました。

なお、西館の工事については、平成 29 年度に繰り越しています。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

平成29年2月定例会議において、入院収益の減少等により事業収益を725,959千円、経費の減少等により事業費用を51,751千円それぞれ減額補正しました。また、資本的収入を244,053千円、資本的支出を277,072千円それぞれ減額補正しました。

○平成28年度予算の執行状況

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの予算の執行状況は次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
病院事業収益	21,728,900	—	△ 89,552	21,639,348	21,602,584	99.8
医業収益	18,359,668	—	△ 78,891	18,280,777	18,224,719	99.7
医業外収益	3,137,132	—	△ 518	3,136,614	3,154,941	100.6
附帯事業収益	232,100	—	△ 10,143	221,957	222,924	100.4
病院事業費用	21,947,300	—	560,099	22,507,399	22,225,508	98.7
医業費用	21,017,102	—	645,965	21,663,067	21,435,596	98.9
医業外費用	698,098	—	△ 75,723	622,375	570,027	91.6
附帯事業費用	232,100	—	△ 10,143	221,957	219,885	99.1

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	4,382,200	1,811,900	△ 244,053	5,950,047	5,907,547	99.3
企業債	4,307,300	1,811,900	△ 220,300	5,898,900	5,856,400	99.3
負担金	74,900	—	△ 28,970	45,930	45,930	100.0
補助金	—	—	1,896	1,896	1,896	100.0
諸収入	—	—	3,321	3,321	3,321	100.0
資本的支出	6,285,200	1,811,941	△ 276,774	7,820,367	7,778,498	99.5
建設改良費	4,484,939	1,811,941	△ 277,467	6,019,413	5,987,545	99.5
企業債償還金	1,800,261	—	693	1,800,954	1,790,953	99.4

(注) 1 補正予算額は、平成28年9月定例会議、平成28年11月定例会議および平成29年2月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○企業債の状況

平成29年3月31日現在の企業債の現在高は、24,867,218千円です。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、患者数の増加等による医業収益の増加等により対前年度比2.9%増加の21,562,543千円となりました。一方、事業費用は、給与費の増加等による医業費用の増加等により対前年度比4.5%

増加の22,198,706千円となりました。この結果、当年度純損失は、前年度より355,419千円増加し、636,163千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	平成 28 年度(A)	平成 27 年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
事 業 収 益	21,562,543	20,964,655	597,888	102.9
医 業 収 益	18,203,869	17,703,767	500,102	102.8
医 業 外 収 益	3,135,832	3,015,044	120,788	104.0
附 帯 事 業 収 益	222,842	245,844	△ 23,002	90.6
事 業 費 用	22,198,706	21,245,399	953,307	104.5
医 業 費 用	20,993,781	19,980,752	1,013,029	105.1
医 業 外 費 用	985,100	964,164	20,936	102.2
附 帯 事 業 費 用	219,825	240,641	△ 20,816	91.3
特 別 損 失	—	59,842	△ 59,842	皆減
当年度純利益(△は損失)	△ 636,163	△ 280,744	△ 355,419	226.6

②財務状況

成人病センター新病棟の建設に伴い、平成28年度末の総資産は、固定資産の増加等により前年度より2,636,071千円(6.6%)増加して42,813,344千円となり、負債は固定負債の増加等により3,269,284千円(10.3%)増加して34,942,033千円となりました。また、資本は633,213千円(7.4%)減少し7,871,311千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	平成 28 年度	平成 27 年度	比較増減	科 目	平成 28 年度	平成 27 年度	比較増減
固定資産	33,970,038	30,006,303	3,963,735	固定負債	27,129,695	22,833,751	4,295,944
流動資産	8,843,306	10,170,970	△1,327,664	流動負債	4,927,770	5,776,539	△ 848,769
				繰延収益	2,884,568	3,062,459	△ 177,891
				負債合計	34,942,033	31,672,749	3,269,284
				資本金	16,415,091	16,415,091	—
				剰余金	△8,543,780	△7,910,567	△ 633,213
				資本合計	7,871,311	8,504,524	△ 633,213
合 計	42,813,344	40,177,273	2,636,071	合 計	42,813,344	40,177,273	2,636,071

(3) 平成29年度の事業および予算の概要

県立病院では、平成18年度に地方公営企業法を全部適用し、病院事業管理者として病院事業庁長を設置し、平成24年3月に策定し、平成27年3月に中間見直しを行った「第三次滋賀県立病院中期計画」に基づき経営改善を進めてきましたが、平均在院日数の短縮に伴う入院収益の減等から、依然として厳しい経営状況となっています。こうした中で、平成29年3月に策定した「第四次滋賀県立病院中期計画」に掲げ

る目標の達成に向けた取り組みを着実に実施し、経営改善を進め、安定的な経営基盤を構築するとともに、質の高い医療サービスを提供していきます。

成人病センターでは、超高齢社会の到来に伴う疾病構造の変化、多様化する医療ニーズに的確に対応するため、平成28年11月に新病棟を開棟して、将来を見据えた病院機能の再構築を図りました。また、がん・心臓血管疾患・脳神経疾患の3大疾病および糖尿病に関する機能を一層充実強化し、特に、がん対策については、都道府県がん診療連携拠点病院として県内のがん診療連携の推進など、県全体のがん医療の質の向上を図ります。さらに、地域医療支援病院として急性期から回復期、在宅への切れ目のない医療の提供に向けて、地域医療構想を踏まえながら病床機能を最適化しつつ、地域の医療機関との連携を深めます。

小児保健医療センターでは、一般病院では対応が困難な障害児医療、小児慢性・難治性疾患を中心に地域医療機関との連携を図りながら、高度専門的かつ包括的医療を提供するとともに、各地域の医師会をはじめ保健所や訪問看護ステーションとの連携により、在宅療養の支援体制を構築するなど診療体制の充実・強化を図ります。また、多様化する県民ニーズに適切に対応するため、病院機能の再構築に向け、平成27年度に策定した「小児保健医療センター基本構想」に基づき、基本計画の策定のための取り組みを行います。

精神医療センターでは、県民の精神医療を担う中核施設として、思春期精神障害、アルコール・薬物の中毒性精神障害等の専門治療や民間では受け入れ困難な身体疾患を伴う患者の積極的な受け入れに取り組みとともに、各地域の医療機関や市町との密接な連携のもと長期入院患者の退院促進を図るため、地域移行支援により積極的に取り組みます。また、医療観察法病棟について、近畿厚生局と適切な調整を図りながら対象者の受け入れを行うとともに、開かれた病院運営に努めつつ、引き続き適切な医療の提供を行います。

○平成29年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左の内訳			
			成人病センター	小児保健医療以外	精神医療センター	経営管理課
病院事業収益		22,607,900	17,266,800	3,130,600	2,068,900	141,600
	医業収益	19,301,713	15,301,109	2,445,055	1,440,014	115,535
	医業外収益	3,078,487	1,965,691	457,845	628,886	26,065
	附帯事業収益	227,700	—	227,700	—	—
病院事業費用		23,155,800	17,808,900	3,137,100	2,068,200	141,600
	医業費用	22,229,090	17,190,207	2,873,828	2,023,455	141,600
	医業外費用	699,010	618,693	35,572	44,745	—
	附帯事業費用	227,700	—	227,700	—	—

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左の内訳			
			成人病センター	小児保健医療以外	精神医療センター	経営管理課
資本的収入		2,876,900	2,350,600	484,000	42,300	—
	企業債	2,849,800	2,325,400	482,900	41,500	—
	負担金	23,456	21,556	1,100	800	—
	諸収入	3,644	3,644	—	—	—
資本的支出		4,530,500	3,621,100	685,100	224,300	—
	建設改良費	2,899,856	2,372,166	484,540	43,150	—
	企業債償還金	1,630,644	1,248,934	200,560	181,150	—

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金で補填します。